

【芸術文化センター】のサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 3者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

応募の検討について

- ① 公募に出すのであれば魅力的な施設なので、条件が合えば受けたい。
- ② 現在の指定管理者と JV（共同事業体）を組んでの応募や運営のための新会社を設立することも考えられる。

指定管理業務の範囲について

- ① 施設規模が大きく、業務が多岐に渡るため（主な業務：施設管理、公演事業、楽団事業等）、JV（共同事業体）の検討が必要である。
- ② 公募することにより、民間企業の特性を生かした付加価値が期待出来る。

応募条件等の内容について

- ① 事業が多く、相当の引継期間（6 か月程度）が必要なので公表時期等に配慮してほしい。
- ② 管弦楽団を独立させ利用料を徴収するなど、館の運営と事業部分について役割を明確化させることが必要である。
- ③ 短い期間で収支を安定させることは難しいので、できるだけ長い指定管理期間（5 年以上）が好ましい。

その他意見

- ① 公募することになれば、現在の組織構成を変えた提案を出す可能性が高い。

担当者：県民生活部芸術文化課 増田
TEL：078-362-3146
メール：geijutsubunkaka@pref.hyogo.lg.jp